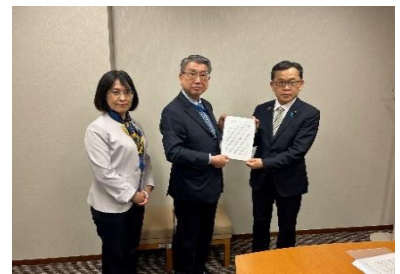


# 出張報告

報告日

令和6年3月29日

会 派 名	公明党				
報告者氏名	真貝維義、西川弘美				
種 別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議				
用 務	参議院議員 訪問				
日 時	令和6年3月26日(火)16:30	～	同日 16:55		
場 所	参議院議員会館（東京都千代田区永田町2-1-1）				
(会 場)					
調査項目等	参議員議員：柏崎刈羽原子力発電所再稼働及び原子力防災に関する陳情・要望				
概 要	<p>柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望と緊急防護措置区域における耐震化率向上に向けた補助制度創設の要望を行った。</p> <p>中川宏昌衆議院議員 再稼働に関しては、新規制基準に合格し地元理解を得た原子力発電所については、再稼働を認めるとした公明党の原子力政策にも合致すること、脱炭素社会の構築、電力の安定供給にも資することから、資源エネルギー庁等に働きかけをすること。</p> <p>能登半島地震のみならず、頻発している自然災害に強いまちづくりに関する耐震化率向上に向けた補助制度については、公明党としても取り組んでいるものである。中川衆議院議員は、北信越比例ブロック選出議員であることから、立地地域全体としてとらえて公明党として内閣府に要望するよう陳情し、内閣府をはじめ関係省庁に働きかけるとの回答を得た。</p>				
所 感 等	<p>原子力発電所の再稼働に向けて、原子力政策や原子力防災の観点から率直に意見交換ができた。</p>				



# 出張報告

報告日

令和6年3月29日

会 派 名	公明党
報告者氏名	真貝維義、西川弘美
種 別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用 務	衆議院議員 訪問
日 時	令和6年3月26日(火)17:00 ～ 同日 17:30
場 所	衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町2-2-1）
(会 場)	
調査項目等	衆議院議員：柏崎刈羽原子力発電所再稼働及び原子力防災に関する陳情・要望
概 要	<p>柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望と緊急防護措置区域における耐震化率向上に向けた補助制度創設の要望を行った。</p> <p>中川宏昌衆議院議員 再稼働に関しては、新規制基準に合格し地元理解を得た原子力発電所については、再稼働を認めるとした公明党の原子力政策にも合致すること、脱炭素社会の構築、電力の安定供給にも資することから、資源エネルギー庁等に働きかけをすること。</p> <p>能登半島地震のみならず、頻発している自然災害に強いまちづくりに関する耐震化率向上に向けた補助制度については、公明党としても取り組んでいるものである。中川衆議院議員は、北信越比例ブロック選出議員であることから、立地地域全体としてとらえて公明党として内閣府に要望するよう陳情し、内閣府をはじめ関係省庁に働きかけるとの回答を得た。</p>
所 感 等	<p>中川議員が能登地震の現場に入っており、現状を把握していることから、耐震化に関して具体的な話をする事ができた。今後も引き続き情報共有・連携していきたい。</p>

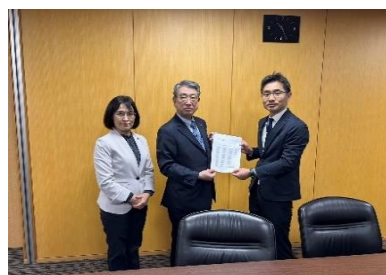


# 出張報告

報告日

令和6年3月29日

会 派 名	公明党
報告者氏名	真貝維義、西川弘美
種 別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用 務	内閣府原子力防災担当 訪問
日 時	令和6年3月27日(水)10:15 ～ 同日 10:45
場 所	内閣府（東京都千代田区永田町1-6-1）
(会 場)	
調査項目等	内閣府：柏崎刈羽原子力発電所再稼働に関する要望
概 要	<p>柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望と緊急防護措置区域における耐震化率向上に向けた補助制度創設の要望を行った。</p> <p>中川宏昌衆議院議員 再稼働に関しては、新規制基準に合格し地元理解を得た原子力発電所については、再稼働を認めるとした公明党の原子力政策にも合致すること、脱炭素社会の構築、電力の安定供給にも資することから、資源エネルギー庁等に働きかけをすること。</p> <p>能登半島地震のみならず、頻発している自然災害に強いまちづくりに関する耐震化率向上に向けた補助制度については、公明党としても取り組んでいるものである。中川衆議院議員は、北信越比例ブロック選出議員であることから、立地地域全体としてとらえて公明党として内閣府に要望するよう陳情し、内閣府をはじめ関係省庁に働きかけるとの回答を得た。</p>
所 感 等	<p>柏崎刈羽原子力発電所再稼働と、この度の令和6年能登半島地震を踏まえ、内閣府がより一層住民の安全・安心のために対策を検討していることが確認できた。また、地元から具体的な提案を行っていくことの重要性を再認識した。</p>



# 出張報告

報告日 令和6年3月29日

会派名	公明党
報告者氏名	真貝維義・西川弘美
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	経済産業省 資源エネルギー庁 訪問
日時	令和6年3月27日（水）14:00～15:00
場所 （会場）	経済産業省 資源エネルギー庁（東京都千代田区霞が関1-3-1）
調査項目等	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
概要	<p>柏崎市議会、刈羽村議会において「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願」を採択したことを受け、国の新規制基準に適合する号機の早期再稼働を実現するための要望を行った。</p> <p><b>【山田 仁 資源エネルギー庁 政策統括調整官】</b> 2050年カーボンニュートラル実現に向けて原子力発電は欠かせない。令和4年以来、東日本エリアは電力需給ひっ迫が2回あり、政府による節電要請を行ってきた。原子力発電所が再稼働している西日本エリアに比べ、東日本エリアでは厳しい状況が続いている。東日本エリアの電力を強靱化するためには、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働が必要である。</p> <p>令和6年能登半島地震を経ても、国の原子力防災指針の大筋は変わらない。新規制基準や避難計画に対するわかりやすい啓発、立地地域の経済効果を上げる取組を、内閣府をはじめとする他部署と連携しながら推進したい。</p> <p>東京電力HD（株）に対しては引き続き安全性向上に取り組み、信頼回復に努めることを求めている。</p>
所感等	<p>山田仁政策統括調整官からは、柏崎刈羽における議会の取り組み、また地元の苦勞に感謝の言葉をいただいた。</p> <p>能登半島地震の影響で、再稼働に対する不安の声が大きい現状を踏まえて、原子力発電所の再稼働の必要性については、資源エネルギー庁、安全性については原子力規制委員会、避難計画について内閣府が責任をもって、市民県民に納得できる説明をお願いした。政策統括調整官からは、国として取り組んでいくとの回答を得た。</p>



# 出張報告

報告日 令和6年3月29日

会派名	公明党
報告者氏名	真貝維義・西川弘美
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	東京電力ホールディングス株式会社 訪問
日時	令和6年3月27日（水）15:30～16:30
場所 （会場）	東京電力ホールディングス株式会社（東京都千代田区内幸町1-1-3）
調査項目等	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
概要	<p>柏崎市議会、刈羽村議会において「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願」を賛成多数で採択したことを報告し、安全性向上と信頼回復に向けた取組みの推進を要望した。</p> <p><b>【小早川 智明 代表執行役社長】</b> 立地地域において原子力発電所が存在することのメリットを実感していただくことが、共存共栄につながると考える。しかし、かねてから要望されている立地地域での発電事業（地元への電力供給）には課題が多い。まずは地域に根を張る企業であるために、令和8年の本社機能移転を機に、社員約300人がエネルギーホール跡地に建設予定の原子力・立地本部事務所に異動するとともに、田尻工業団地内に東京電力柏崎レジリエンスセンターの建設も決定した。 東日本エリアの電力需給はひっ迫し、安定的な電力供給のために早期に戦線に復帰したい。そのためにも安全性向上と地域振興に資する事業展開を進めていく。</p>
所感等	<p>事前をお願いをした①1～5号機に対する見解、②今後の地域振興、③使用済核燃料の保管、④直流海底ケーブルについての4点について回答をいただいた。発電所の安全対策への理解促進、地域貢献と経済効果等、小早川社長より見解を伺うことができた。</p> <p>再稼働は何よりも東京電力の信頼回復であるが、東京電力だけでは課題が多くあり、国との連携が必要であると再認識をした。再稼働に向け、更なる安全対策・地元への丁寧な説明が求められる。</p>